

ベンチマーキング導入の目的（再整理）

背景と課題

- これまで、下水道事業の推進役は、下水道普及率という指標が担ってきた。
 - ・地方公共団体が**自らの立ち位置(成果・課題)**を把握。
 - ・地方公共団体・国・関係団体・企業等が**課題意識を共有し、協調・協働**し事業推進。
- 一方、「循環のみち下水道」にも位置づけられる、防災・減災、資源・エネルギー活用、経営、維持管理・ストックマネジメント、水環境等、**新たな重要施策**については、**指標化されていない**。

ベンチマーキング導入の目的

共通指標の導入と公開により、下水道界の**コミュニケーションを円滑化**させ、「**循環のみち下水道**」**実現の加速**を図る。

【具体的ねらい】

○地方公共団体の自律的マネジメント促進

- ・国内外の他事業者との比較により**自らの立ち位置(成果・課題)**を把握
- ・**良好な取組から学び**、自らの事業に活用 など

○国の施策充実

- ・定量データに基づき、国際的な視点も踏まえ、**我が国の立ち位置(成果・課題)**を把握
- ・重点支援すべきグループ・自治体に対する技術支援、改善プロセスの共有、全国水平展開 など

○企業との連携強化

- ・地方公共団体の取組を通じ**間接的に評価される**
- ・地方公共団体が抱える**課題を把握**
 - サービス向上・技術開発促進等へのインセンティブ増大 など